

ライセンス・マネージャ V2.09.00 (Linux 用)

ユーザーズ・マニュアル

対象デバイス

RL78 ファミリ

RX ファミリ

RH850 ファミリ

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合、お客様の責任において、お客様の機器・システムを設計ください。これらの使用に起因して生じた損害（お客様または第三者いずれに生じた損害も含みます。以下同じです。）に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 当社製品または本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害またはこれらに関する紛争について、当社は、何らの保証を行うものではなく、また責任を負うものではありません。
3. 当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を組み込んだ製品の輸出入、製造、販売、利用、配布その他の行為を行うにあたり、第三者保有の技術の利用に関するライセンスが必要となる場合、当該ライセンス取得の判断および取得はお客様の責任において行ってください。
5. 当社製品を、全部または一部を問わず、改造、改変、複製、リバースエンジニアリング、その他、不適切に使用しないでください。かかる改造、改変、複製、リバースエンジニアリング等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
6. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。

標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等

高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通制御（信号）、大規模通信機器、金融端末基幹システム、各種安全制御装置等

- 当社製品は、データシート等により高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（宇宙機器と、海底中継器、原子力制御システム、航空機制御システム、プラント基幹システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、これらの用途に使用することは想定していません。たとえ、当社が想定していない用途に当社製品を使用したことにより損害が生じて、当社は一切その責任を負いません。
7. あらゆる半導体製品は、外部攻撃からの安全性を 100%保証されているわけではありません。当社ハードウェア／ソフトウェア製品にはセキュリティ対策が組み込まれているものもありますが、これによって、当社は、セキュリティ脆弱性または侵害（当社製品または当社製品が使用されているシステムに対する不正アクセス・不正使用を含みますが、これに限りません。）から生じる責任を負うものではありません。当社は、当社製品または当社製品が使用されたあらゆるシステムが、不正な改変、攻撃、ウイルス、干渉、ハッキング、データの破壊または窃盗その他の不正な侵入行為（「脆弱性問題」といいます。）によって影響を受けないことを保証しません。当社は、脆弱性問題に起因したまたはこれに関連して生じた損害について、一切責任を負いません。また、法令において認められる限りにおいて、本資料および当社ハードウェア／ソフトウェア製品について、商品性および特定目的との合致に関する保証ならびに第三者の権利を侵害しないことの保証を含め、明示または黙示のいかなる保証も行いません。
 8. 当社製品をご使用の際は、最新の製品情報（データシート、ユーザーズマニュアル、アプリケーションノート、信頼性ハンドブックに記載の「半導体デバイスの使用上の一般的な注意事項」等）をご確認の上、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他指定条件の範囲内でご使用ください。指定条件の範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障、誤動作の不具合および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
 9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は、データシート等において高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、耐放射線設計を行っておりません。仮に当社製品の故障または誤動作が生じた場合であっても、人身事故、火災事故その他社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
 10. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。かかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
 11. 当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。当社製品および技術を輸出、販売または移転等する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他日本国および適用される外国の輸出管理関連法規を遵守し、それらの定めるところに従い必要な手続きを行ってください。
 12. お客様が当社製品を第三者に転売等される場合には、事前に当該第三者に対して、本ご注意書き記載の諸条件を通知する責任を負うものといたします。
 13. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。
 14. 本資料に記載されている内容または当社製品についてご不明な点がございましたら、当社の営業担当者までお問合せください。
- 注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社が直接的、間接的に支配する会社をいいます。
- 注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

(Rev.5.0-1 2020.10)

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24（豊洲フォレシア）

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

このマニュアルの使い方

このマニュアルは、RL78 ファミリ RX ファミリ、RH850 ファミリ用アプリケーション・システムを開発する際の開発環境のライセンス管理について説明します。

対象者 このマニュアルは、ルネサス エレクトロニクス製開発環境を使用してアプリケーション・システムを開発するユーザを対象としています。

目的 このマニュアルは、ライセンス管理機能をユーザに理解していただき、ルネサス エレクトロニクス製開発環境によるソフトウェア開発の参照用資料として役立つことを目的としています。

構成 このマニュアルは、大きく分けて次の内容で構成しています。

1. 概説
2. 機能
3. メッセージ

読み方 このマニュアルを読むにあたっては、電気、論理回路、マイクロコンピュータに関する一般知識が必要となります。

凡例

データ表記の重み	: <u>左</u> が上位桁、右が下位桁
アクティブ・ロウの表記	: XXX (端子、信号名称に上線)
注	: 本文中についた注の説明
注意	: 気をつけて読んでいただきたい内容
備考	: 本文中の補足説明
数の表記	: 10 進数 ... XXXX 16 進数 ... 0XXXXX

目次

1. 概説.....	5
1.1 概要	5
1.2 動作環境	6
1.2.1 対応ライセンス	7
1.2.2 Upgrade (edition)ライセンス	8
1.2.3 Upgrade (version) ライセンス	8
2. 機能.....	10
2.1 ライセンス・マネージャをインストールする	10
2.2 ライセンス・マネージャをアンインストールする	10
2.3 ライセンス・マネージャを使用する.....	10
2.3.1 オプション	10
2.3.2 終了ステータス	12
2.3.3 ライセンスの使用状況を確認する	12
2.3.4 期間ライセンスの期限切れを確認する	12
2.3.5 ノードロック・ライセンスを追加する	13
2.3.6 ノードロック・ライセンスを削除する	13
2.3.7 フローティング・ライセンスの初期設定を行う	13
2.3.8 フローティング・ライセンスを使用する	14
2.3.9 フローティング・ライセンスをオフライン使用モードで使用する	14
2.3.10 フローティング・ライセンスのオフライン使用モードを終了する	15
2.3.11 フローティング・ライセンス・サーバとのバージョン不一致の通知を表示する.....	15
2.3.12 ログ・ファイルに使用状況を記録する	15
3. メッセージ.....	17
3.1 メッセージ種別	17
3.2 内部エラー	17
3.3 フェイタル・エラー	17
3.4 インフォメーション	20
3.5 ワーニング	20

1. 概説

このマニュアルでは、マイクロコントローラ用アプリケーション・システムを開発する際の開発環境のライセンスを管理する方法について説明します。

フローティング・ライセンスについては、クライアント側の管理方法について説明します。サーバ側の管理方法については、「フローティング・ライセンス管理用ソフトウェア ユーザーズ・マニュアル」の Windows 用あるいは Linux 用を参照してください。

1.1 概要

ライセンス・マネージャ(Linux 用)は、ルネサス エレクトロニクス製の下記ツールの使用するノードロック・ライセンスおよびフローティング・ライセンスを管理する機能を提供します。

- RL78 ファミリ用 C コンパイラパッケージ CC-RL
- RX ファミリ用 C/C++コンパイラパッケージ CC-RX
- RH850 ファミリ用 C コンパイラパッケージ CC-RH

ルネサス エレクトロニクス製統合開発環境 e² studio などではこれらのツールを使用する場合に、ライセンス・マネージャによりライセンス管理を行うことができます。

ノードロック・ライセンスとは、ソフトウェアのライセンスをクライアントのライセンス・マネージャで管理し、ライセンス・キーを登録したクライアントで、リンク可能なコード・サイズ制限を解除するなど、ライセンスに対応した機能を使用することができるライセンス方式です。

表 1.1 ノードロック・ライセンスを使用する手順

手順	ライセンス対象 開発ツール	ライセンス・マネージャ
1	ユーザがインストール	ユーザがインストール
2		ユーザがライセンス・キーを登録
3	ユーザが起動	
4	ツールがライセンス・マネージャにライセンスを確認→	
5		←ツールにライセンスの有無を返す

ユーザ：PC 管理者および開発ツール使用ユーザ

フローティング・ライセンスとは、複数人が使用するソフトウェアのライセンスを 1 台のコンピュータ（サーバ）で管理し、ネットワークに接続されたどのコンピュータ（クライアント）のユーザも、ライセンス数の範囲内でソフトウェアを使用することができるライセンス方式です。フローティング・ライセンスの場合、ユーザごとにライセンスを取得可能です。

表 1.2 フローティング・ライセンスを使用する手順

手順	クライアント		サーバ
	ライセンス対象 開発ツール	ライセンス・マネージャ	フローティング・ライセンス管理ツール
(事前準備)			管理者がライセンス・キーを追加
1	ユーザが起動		
2	ツールがライセンスを要求→		
3		サーバにフローティング・ライセンスを要求→	

4			←クライアントにフローティング・ライセンスを付与
5		←ツールにライセンスの有無を返す	

管理者：ライセンス管理者

ユーザ：フローティング・ライセンスを使用するユーザ

フローティング・ライセンスは、ネットワーク上のサーバに接続された状態でなければ使用できません。

ネットワーク環境から切断された状態でライセンスを使用するために、一定期間ライセンスを占有する仕組みがオフライン使用モードです。

表 1.3 フローティング・ライセンスのオフライン使用モードを使用する手順

手順	クライアント		サーバ	ネットワーク上でクライアントとサーバの接続状態
	ライセンス対象 開発ツール	ライセンス・マネージャ	フローティング・ライセンス管理ツール	
(事前準備)			管理者がライセンス・キーを追加	接続されている
1		ユーザがフローティング・ライセンス（オフライン使用モード）を要求		
2		サーバにフローティング・ライセンス（オフライン使用モード）を要求→		
3			←クライアントにフローティング・ライセンス（オフライン使用モード）を付与	
4	ユーザが起動			接続されていない
5	ライセンス・マネージャにライセンス要求→			
6		←ツールにライセンスの有無を返す		

管理者：ライセンス管理者

ユーザ：オフライン使用モードを利用するユーザ

ノードロック・ライセンスおよびフローティング・ライセンスには、使用期限のない permanent ライセンスと、1 年間の使用期限が設定された annual ライセンスがあります。有効期間は、当社ホームページの MyRenesas に、コンパイラ製品に同梱されているライセンス取得コードを初回登録した時点から 1 年間です。使用期限を過ぎた期間ライセンスではライセンス対象の開発ツールは使用できません。

1.2 動作環境

ライセンス・マネージャ V2.09.00 は、以下の環境で動作します。

- OS
 - Ubuntu 22.04 LTS
 - Ubuntu 24.04 LTS

- ハードウェア
 - OS の必要スペックに準拠
- 開発環境
 - ノードロック・ライセンス(permanent および annual)
 - ✧ CC-RL V1.13.00 以降
 - ✧ CC-RX V3.06.00 以降
 - ✧ CC-RH V2.06.00 以降
 - フローティング・ライセンス(permanent および annual)
 - ✧ CC-RL V1.13.00 以降
 - ✧ CC-RX V3.06.00 以降
 - ✧ CC-RH V2.06.00 以降
- フローティング・ライセンス・サーバ
 - V2.08.00 (Linux) 以降
 - V2.08.00 (Windows) 以降

1.2.1 対応ライセンス

以下のライセンスに対応しています。

表 1.4 対応ライセンス

ライセンス	Compiler V1 for RL78 (CC-RL)	Compiler V3 for RX (CC-RX)	Compiler V2 for RH850 (CC-RH)
Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)	●	●	●
Standard 版ノードロック・ライセンス (annual)	●	●	●
Standard 版フローティング・ライセンス (permanent)	●	●	●
Standard 版フローティング・ライセンス (annual)	●	●	●
Professional 版ノードロック・ライセンス (permanent)	●	●	●
Professional 版ノードロック・ライセンス (annual)	●	●	●
Professional 版フローティング・ライセンス (permanent)	●	●	●
Professional 版フローティング・ライセンス (annual)	●	●	●
Upgrade (edition) ノードロック・ライセンス (permanent)	Standard→ Professional	Standard→ Professional	Standard→ Professional
Upgrade (version) Standard 版ノードロック・ ライセンス (permanent)		V2→V3	V1→V2
Upgrade (version) Professional 版ノードロッ ク・ライセンス (permanent)		V2→V3	V1→V2
Upgrade (version) Standard 版フローティン グ・ライセンス (permanent)		V2→V3	V1→V2

Upgrade (version) Professional 版フローティング・ライセンス (permanent)		V2→V3	V1→V2
---	--	-------	-------

1.2.2 Upgrade (edition)ライセンス

Standard 版ノードロック・ライセンス(permanent)を Professional 版ノードロック・ライセンス(permanent)にアップグレードできます。

表 1.5 Upgrade (edition)ライセンス

	アップグレード元	Upgrade (edition)	アップグレード先
	Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)	Upgrade (edition) ノードロック・ライセンス (permanent)	Professional 版ノードロック・ライセンス (permanent)
例	Compiler V3 for RX (CC-RX) Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)	V3 Upgrade (edition) ノードロック・ライセンス (permanent)	Compiler V3 for RX (CC-RX) Professional 版ノードロック・ライセンス (permanent)

【備考】 期間ライセンス(annual)やフローティング・ライセンスをアップグレード元にできません。

1.2.3 Upgrade (version) ライセンス

元のバージョン(permanent)を version+1(permanent)にアップグレードできます。

表 1.6 Upgrade (version)ライセンス

	アップグレード元	Upgrade (version)	アップグレード先
	(version) Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)	(version+1)の Upgrade (version) Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)	(version+1) Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)
	(version) Professional 版ノードロック・ライセンス (permanent)	(version+1)の Upgrade (version) Professional 版ノードロック・ライセンス (permanent)	(version+1) Professional 版ノードロック・ライセンス (permanent)
	(version) Standard 版フローティング・ライセンス (permanent)	(version+1)の Upgrade (version) Standard 版フローティング・ライセンス (permanent)	(version+1) Standard 版フローティング・ライセンス (permanent)
	(version) Professional 版フローティング・ライセンス (permanent)	(version+1)の Upgrade (version) Professional 版フローティング・ライセンス (permanent)	(version+1) Professional 版フローティング・ライセンス (permanent)
例	Compiler V2 for RX (CC-RX) Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)	V3 Upgrade (version) Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)	Compiler V3 for RX (CC-RX) Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)

【備考】 期間ライセンス(annual)をアップグレード元にできません。

Professional 版を元にして Upgrade (version) Standard 版で(version+1) Standard 版になります。

表 1.7 Upgrade (version) Standard 版の例

	アップグレード元	アップグレード	アップグレード先
例	Compiler V2 for RX (CC-RX) Professional 版ノードロック・ライセンス (permanent)	V3 Upgrade (version) Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)	Compiler V3 for RX (CC-RX) Standard 版ノードロック・ライセンス (permanent)

【備考】 Standard 版を元にして Upgrade (version) Professional 版は適用できません。

アップグレード先をアップグレード元にしてアップグレードできます。

表 1.8 アップグレード先をアップグレード元にした例

	アップグレード元	アップグレード	アップグレード先/ 元	アップグレード	アップロード先
例	Compiler V2 for RX (CC-RX) Standard 版ノード ロック・ライセンス (permanent)	V3 Upgrade (version) Standard 版ノードロッ ク・ライセンス (permanent)	Compiler V3 for RX (CC-RX) Standard 版ノー ドロック・ライセン ス (permanent)	V3 Upgrade (edition) ノードロック・ライセ ンス (permanent)	Compiler V3 for RX (CC-RX) Professional 版ノー ドロック・ライセンス (permanent)

2. 機能

2.1 ライセンス・マネージャをインストールする

ターミナル上でインストーラのファイル名を指定して以下を入力してください。

```
$ sudo dpkg -i license-manager_2.09.00_amd64.deb
```

インストール先は下記になります。

```
/usr/local/renesas-mcutools/
```

【注意 1】 sudo を付けて実行する場合、現在のユーザのパスワード入力が必要です。

【注意 2】 sudo を付けて実行する場合、デフォルトで環境変数 PATH が固定されているため、コマンドはフルパスで指定して実行する必要があります。

2.2 ライセンス・マネージャをアンインストールする

ターミナル上で以下を入力してください。

```
$ sudo dpkg -r license-manager
```

アンインストールを実行した場合、インストール先ディレクトリにライセンス・マネージャの設定ファイルが存在しているため以下の警告が表示されます。

「ディレクトリ'パス'が空でないため削除できませんでした」

再インストールする場合は同じ設定で使用可能となりますので削除不要です。

すべてのディレクトリ、ファイルを削除したい場合は、アンインストール後に以下のディレクトリを削除してください。

```
/usr/local/share/renesas-mcutools-license
```

```
/var/local/renesas-mcutools-license
```

```
~/renesas/mcutools-license
```

2.3 ライセンス・マネージャを使用する

インストールしたライセンス・マネージャの使用方法を説明します。

ターミナル上で以下を入力してください。

```
$ /usr/local/renesas-mcutools/bin/license-manager [オプション]...
```

2.3.1 オプション

相反するオプション(--enable-*と--disable-*など)以外は同時に複数指定可能です。同じオプションでは指定した順序で処理します。

表 2.1 オプション

カテゴリ	ショートオプション	ロング・オプション	引数	説明
ライセンス表示	-l	--list		有効な登録ライセンスのリストを表示します。
		--check-expiration		--list と一緒に指定し期間ライセンス(annual)の期限切れを表示します。
ノードロック		--add <license key>		ノードロック・ライセンスを追加します。
		--delete <license key>		ノードロック・ライセンスを削除します。

ク・ラ イセン ス				
フロー ティン グ・ラ イセン ス・サ ーバ設 定		--enable-server-setting [<アドレス> [<ポート番号>]]		フローティング・ライセンス・サーバの設定を有効化します。
			<アドレス>	サーバのアドレスを指定します。省略した場合は設定されている値を使用します。
			<ポート番号>	サーバのポート番号を指定します。省略した場合は設定されている値を使用します。初期値は 6723 です。
		--disable-server-setting		フローティング・ライセンス・サーバの設定を無効化します。
	-s	--server-info		フローティング・ライセンス・サーバの設定情報を表示します。
オフラ イン使 用モー ド ^注	-f	--list-for-offline-mode		フローティング・ライセンス(オフライン使用モード)の候補を表示します。
		--get-offline-mode <種類> [<期間>]		フローティング・ライセンスをオフライン使用モードで取得します。
			<種類>	--list-for-offline-mode オプションで表示される種類を指定します。
			<期間>	ライセンス期間を 1 から 99 の数値(単位:日)で指定します。省略時は 3 日とします。
	-i	--list-in-offline-mode		オフライン使用モードを取得しているフローティング・ライセンスを表示します。
		--release-offline-mode <種類>		フローティング・ライセンスのオフライン使用モードを終了します。
ログ 記録 オブ ション				
		--enable-logging [<size> [<detail> [<directory>]]		ログ・ファイルに使用状況を記録します。
			<size>	ログ・ファイルの最大サイズを 10 から 9999 の数値で指定します。単位は MB です。
			<detail>	詳細な内部動作も記録する場合は true を指定します。クライアントからの要求とその応答のみ記録する場合は false を指定します。初期値は false です。
			<directory>	ログ・ファイルを保存するディレクトリを指定します。初期値は以下です。 ~/renesas/mcutools-license/LicenseInfo/Log
		--disable-logging		ログ・ファイルに使用状況を記録しません。
	-g	--logging-info		ログ記録設定情報を表示します。
その 他	-h	--help		使い方を表示します。
	-v	--version		バージョンを表示します。
		--lang <culture>		指定のカルチャで表示します。
			<culture>	日本語なら ja-JP, 英語なら en-US を指定します。

【注】 フローティング・ライセンス・サーバ設定が有効である必要があります。

2.3.2 終了ステータス

正常終了は 0, 異常終了は 1 で終了します。

2.3.3 ライセンスの使用状況を確認する

--list オプションでライセンスの使用状況を確認できます。

有効なライセンスの表示例
<pre>\$ /usr/local/renesas-mcutools/bin/license-manager --list ライセンス種別 : Compiler Standard V1 for RL78 (CC-RL) ノードロック・ライセンス(permanent) ライセンス・キー : XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX シリアル番号 : 0x00000000 ライセンス種別 : Compiler Standard V1 for RH850 (CC-RH) ノードロック・ライセンス(permanent) ライセンス・キー : YYYYYY-YYYYYY-YYYYYY-YYYYYY-YYYYYY シリアル番号 : 0x00000000 ライセンス種別 : Compiler Standard V2 for RX (CC-RX) ノードロック・ライセンス(permanent) ライセンス・キー : ZZZZZZ-ZZZZZZ-ZZZZZZ-ZZZZZZ-ZZZZZZ シリアル番号 : 0x00000000 ライセンス種別 : Compiler Standard V1 for RH850 (CC-RH) フローティング・ライセンス(オフライン取得モード) 使用期限 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss 種類 : CC-RH1 \$</pre>

2.3.4 期間ライセンスの期限切れを確認する

--list オプションとともに--check-expiration オプションを指定することで期間ライセンスの期限切れを確認できます。

期間ライセンスの期間切れ確認例
<pre>\$ /usr/local/renesas-mcutools/bin/license-manager --check-expiration --list ライセンス種別 : Compiler Standard V1 for RL78 (CC-RL) ノードロック・ライセンス(annual) ライセンス・キー : XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX シリアル番号 : 0x00000000 使用期限 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss ライセンス種別 : Compiler Standard V1 for RH850 (CC-RH) ノードロック・ライセンス(annual) ライセンス・キー : YYYYYY-YYYYYY-YYYYYY-YYYYYY-YYYYYY シリアル番号 : 0x00000000 使用期限 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss ライセンス種別 : Compiler Standard V2 for RX (CC-RX) ノードロック・ライセンス(annual) ライセンス・キー : ZZZZZZ-ZZZZZZ-ZZZZZZ-ZZZZZZ-ZZZZZZ シリアル番号 : 0x00000000 使用期限 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss</pre>

```

ライセンス種別 : Compiler Standard V1 for RH850 (CC-RH) フローティング・ライセンス(オフライン取得
モード)
      使用期限 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss
      種類 : CC-RH1
ライセンス使用期限のお知らせ
M0175021:使用期限切れになるノードロック・ライセンス(annual)があります。
このクライアントに登録されているノードロック・ライセンス(annual),
Compiler Standard V1 for RL78 (CC-RL) は, YYYY/MM/DD hh:mm:ss に有効期限切れとなり, 使用でき
なくなりました。
Compiler Standard V1 for RH850 (CC-RH) は, 7 日後に有効期限切れとなり, 使用できなくなります。
Compiler Standard V2 for RX (CC-RX) は, 30 日後に有効期限切れとなり, 使用できなくなります。
$

```

2.3.5 ノードロック・ライセンスを追加する

--add オプションにより, ノードロック・ライセンスを追加できます。追加後に--list オプションで追加されたライセンスを確認できます。

ノードロック・ライセンスを追加例

```

$ /usr/local/renesas-mcutools/bin/license-manager --add XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX
$

```

【注意】 アップグレード(バージョン) 版ノードロック・ライセンス(permanent) を追加するときは, アップグレード元となるノードロック・ライセンス(permanent) が登録されている必要があります。アップグレード元を先にライセンス・マネージャに追加するか, アップグレード(バージョン) 版とアップグレード元を同時に追加してください。

2.3.6 ノードロック・ライセンスを削除する

--delete オプションにより, ノードロック・ライセンスを削除できます。削除後に--list オプションを指定すると削除されたライセンスが表示されなくなります。

ノードロック・ライセンスの削除例

```

$ /usr/local/renesas-mcutools/bin/license-manager --delete XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX
$

```

【注意】 アップグレード(バージョン) 版ノードロック・ライセンス(permanent) が登録されているときは, アップグレード元となるノードロック・ライセンス(permanent) は削除できません。先にアップグレード(バージョン) 版を削除してください。

2.3.7 フローティング・ライセンスの初期設定を行う

フローティング・ライセンスを使用するには初期設定が必要です。

【注意】 クライアントの初期設定は, サーバの初期設定が完了した後に行ってください。故障や移動によりサーバに変更があった場合にも再設定が必要になります。設定変更後, 既存のフローティング・ライセンスはすべて無効になります。クライアントの初期設定はユーザごとに行う必要があります。

--enable-server-setting によりサーバを指定して, サーバのアドレスを指定して有効化してください。ポート番号をデフォルトから変更している場合はポート番号も指定してください。

サーバを指定して有効化例

```

$ /usr/local/renesas-mcutools/bin/license-manager --enable-server-setting xxx.xxx.xxx.xxx

```

```
$
```

--server-info オプションにより現在の設定を確認できます。

設定の確認例

```
$ /usr/local/renesas-mcutools/bin/license-manager --server-info
フローティング・ライセンス: 有効
  サーバ・アドレス: XXX.XXX.XXX.XXX
      ポート: XXXX
$
```

2.3.8 フローティング・ライセンスを使用する

フローティング・ライセンスを使用するために特別な操作はありません。

ライセンス対象のソフトウェアを起動すると、自動的にフローティング・ライセンスを取得します。有効期限はライセンスの取得から 30 分です。

取得したライセンスは、有効期限が切れると自動的にサーバに返却されます。返却後にライセンスが必要になった場合も、ライセンス対象のソフトウェアが自動的にフローティング・ライセンスを再取得します。

2.3.9 フローティング・ライセンスをオフライン使用モードで使用する

フローティング・ライセンスは、ネットワーク上のサーバに接続された状態でなければ使用できません。

ネットワーク上のサーバに接続された状態でフローティング・ライセンス（オフライン使用モード）を取得すると、ネットワーク環境から切断された状態でも一定期間ライセンスを占有することができます。

--list-for-offline-mode オプションにより、オフライン使用モードの候補を表示できます。

オフライン使用モードの候補の表示例

```
$ /usr/local/renesas-mcutools/bin/license-manager --list-for-offline-mode
Get floating license (offline mode) from XXX.XXX.XXX.XXX
  種類 名前 (使用状況: floating/offline/all)
-----+-----
  CC-RH1 Compiler Standard V1 for RH850 (CC-RH) (1/0/2)
  CC-RH2 Compiler Standard V2 for RH850 (CC-RH) (0/1/2)
  CC-RL2 Compiler Standard V2 for RL78 (CC-RL) (0/0/2)
  CC-RL1 Compiler Standard V1 for RL78 (CC-RL)
$
```

フローティング・ライセンス・サーバで使用状況を公開する設定をした場合に以下のフォーマットで使用状況を表示します。

(フローティング・ライセンスの使用数/フローティング・ライセンス(オフライン使用モード)の使用数/有効な全体数)

有効な全体数に期限の切れたフローティング・ライセンス(annual)は含みません。

フローティング・ライセンス・サーバで使用状況を公開する設定に関しては、「フローティング・ライセンス管理用ソフトウェア ユーザーズ・マニュアル」の Windows 用あるいは Linux 用を参照してください。

【注意】 フローティング・ライセンス・サーバで使用状況を公開する設定はフローティング・ライセンス・サーバ V2.09.00 以降にあります。

--list-for-offline-mode で表示された種類を--get-offline-mode オプションの引数で指定することにより、オフライン使用モードを取得できます。

オフライン使用モードの取得例

```
$ /usr/local/renesas-mcutools/bin/license-manager --get-offline-mode "CC-RH1"
$
```

2.3.10 フローティング・ライセンスのオフライン使用モードを終了する

--list-in-offline-mode オプションにより、使用中のオフライン使用モードを表示できます。

使用中のオフライン使用モードの表示例

```
$ /usr/local/renesas-mcutools/bin/license-manager --list-in-offline-mode
ライセンス種別 : Compiler Standard V1 for RH850 (CC-RH) フローティング・ライセンス(オフライン取得モード)
    使用期限 : YYYY/MM/DD hh:mm:ss
    種類 : CC-RH1
$
```

--list-in-offline-mode で表示された種類を--release-offline-mode の引数に指定することでオフライン使用モードを終了することができます。

オフライン使用モードの終了例

```
$ /usr/local/renesas-mcutools/bin/license-manager --release-offline-mode "CC-RH1"
$
```

2.3.11 フローティング・ライセンス・サーバとのバージョン不一致の通知を表示する

フローティング・ライセンス・サーバと通信を行うオプション(--enable-server-setting や--get-offline-mode など)を使用した場合に以下のメッセージが表示された場合はフローティング・ライセンス・サーバをバージョンアップしてください。

メッセージ

E0174024:ライセンス・マネージャの想定より古いバージョンのフローティング・ライセンス・サーバに接続しています。フローティング・ライセンス・サーバをバージョンアップしてください。

【注意】 ライセンス・マネージャ V2.09.00 でフローティング・ライセンスを使用する場合は、フローティング・ライセンス・サーバ V2.08.00 以降が必要です。

2.3.12 ログ・ファイルに使用状況を記録する

--enable-logging オプションにより、ログ・ファイルに使用状況を記録できます。

ログ・ファイルに使用状況を記録するようにする例

```
$ /usr/local/renesas-mcutools/bin/license-manager --enable-logging
$
```

--logging-info オプションにより、現在の設定を確認できます。

現在の設定の確認例

```
$ /usr/local/renesas-mcutools/bin/license-manager --logging-info
ログ・ファイルに利用状況を記録する : 有効
    ログ・ファイルの最大サイズ : 10MB
    詳細な内部動作も記録する : 無効
```

ログ・ファイルを保存するフォルダ : /home/user/.renesas/mcutools-license/LicenseInfo/Log

\$

3. メッセージ

この章では、ライセンス・マネージャが出力する内部エラー・メッセージ、フェイタル・エラー・メッセージ、

インフォメーション・メッセージ、ワーニング・メッセージについて説明します。

メッセージはターミナルの標準出力、またはログ・ファイルなどに出力されます。

3.1 メッセージ種別

ライセンス・マネージャ実行時におけるメッセージ種別（1 文字の英字）は、次のように分類されています。

メッセージ種別	説明
C 内部エラー	内部エラーが発生したため、処理を終了（中断）します。
E フェイタル・エラー	フェイタル・エラーが発生したため、処理を終了（中断）します。
M インフォメーション	情報を通知します。メッセージを確認後、処理を継続します。
W ワーニング	警告を通知します。メッセージを確認後、処理を継続します。

3.2 内部エラー

C0171000	[メッセージ]	内部エラーが発生したためライセンスの取得に失敗しました。 xxx
C0171001	[メッセージ]	内部エラーが発生したためライセンス要求の送信に失敗しました。 xxx
C0171002	[メッセージ]	内部エラーが発生したためライセンス要求の送信に失敗しました。
C0171004	[メッセージ]	ファイルの読み込みに失敗しました。 xxx
C0171005	[メッセージ]	ファイルの保存に失敗しました。 xxx
C0190000	[メッセージ]	デバイスの指定が不正です。
C0190002	[メッセージ]	xxx が大きすぎます。
C0190003	[メッセージ]	xxx が小さすぎます。
C0190004	[メッセージ]	ツールの指定が不正です。
C0190005	[メッセージ]	ライセンス種別の指定が不正です。

3.3 フェイタル・エラー

E0172000	[メッセージ]	ライセンスの取得がタイムアウトしました。
E0172001	[メッセージ]	コマンドライン・オプションが不正です。
E0172002	[メッセージ]	ライセンス・ファイルの読み込みに失敗しました。
E0172003	[メッセージ]	オプション・ファイルの読み込みに失敗しました。 xxx
E0172004	[メッセージ]	オプション・ファイルの読み込みに失敗しました。 xxx
E0172005	[メッセージ]	オプション・ファイルの保存に失敗しました。 xxx
E0172006	[メッセージ]	オプション・ファイルの保存に失敗しました。 xxx
E0172007	[メッセージ]	ライセンス情報の読み込みに失敗しました。

		xxx
E0172008	[メッセージ]	サーバ・アドレスまたはポートの設定が不正です。 xxx
E0172009	[メッセージ]	ライセンス情報の保存に失敗しました。 xxx
E0172010	[メッセージ]	サーバ・アドレスまたはポートの設定が不正です。 xxx
	[対処方法]	オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。
E0172011	[メッセージ]	ライセンス・サーバからの応答を受信できませんでした。 xxx
	[対処方法]	オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。
E0172014	[メッセージ]	ログ・ファイルの書き込みに失敗しました。
E0172020	[メッセージ]	ライセンス・サーバからの応答が不正です。
	[対処方法]	オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。
E0172021	[メッセージ]	ライセンス・サーバからの応答が不正です。
	[対処方法]	オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。
E0172022	[メッセージ]	ライセンス・サーバにライセンスの空きがありません。
E0172023	[メッセージ]	ライセンス・サーバにライセンスの空きがありません。 上位のライセンスに空きがあります。
E0172024	[メッセージ]	ライセンス・サーバが、不正なサーバへの接続と応答を返しました。
	[対処方法]	[オプション]でフローティング・ライセンスを無効にし、再度有効にしてください。
E0172025	[メッセージ]	ライセンス・サーバが、不明なクライアントからの接続と応答を返しました。
	[対処方法]	[オプション]でフローティング・ライセンスを無効にし、再度有効にしてください。
E0172026	[メッセージ]	ライセンス・サーバの時刻との差が大きすぎます。
	[対処方法]	PC の時刻を確認してください。問題がない場合は、ライセンス・サーバ管理者にサーバの時刻に問題がないか確認してください。
E0172027	[メッセージ]	ライセンス・サーバが不明なライセンスと応答を返しました。
	[対処方法]	ライセンス・サーバのバージョンが古い可能性があります。ライセンス・サーバ管理者に確認してください。
E0172028		ライセンスは有効期限切れです。
E0172040		ライセンス・サーバへの接続に失敗しました。 xxx
E0172041	[メッセージ]	ライセンス・サーバへの接続がタイムアウトしました。
	[対処方法]	オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。 ライセンス・サーバ管理者に、フローティング・ライセンスが有効になっているか問い合わせてください。 ライセンス・サーバ上のファイアウォールで通信がブロックされている可能性があります。ライセンス・サーバ管理者に、クライアントからの通信を許可しているかどうか問い合わせてください。 クライアント上のパーソナルファイアウォールなどのセキュリティソフトにブロックされている可能性があります。オプションで指定したポートへの通信を許可してください。
E0172042	[メッセージ]	ライセンス・サーバへの接続に失敗しました。 サーバが見つからないか、DNS エラーです。
	[対処方法]	オプションで指定したサーバ・アドレスに間違いがないか確認してください。解決しない場合

		は、IP アドレスで指定してください。
E0172043	[メッセージ]	ライセンス・サーバへの接続に失敗しました。
	[対処方法]	オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。 ライセンス・サーバ管理者に、フローティング・ライセンスが有効になっているか問い合わせ てください。
E0172044	[メッセージ]	ライセンス・サーバが接続を拒否しました。
	[対処方法]	オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。
E0172045	[メッセージ]	ライセンス・サーバがエラーコード(xxx)を返しました。
	[対処方法]	オプションで指定したサーバ・アドレスとポート番号に間違いがないか確認してください。
E0172046	[メッセージ]	プロキシサーバへの接続に失敗しました。 サーバが見つからないか、DNS エラーです。
	[対処方法]	コントロール・パネルの[インターネット オプション]で、プロキシサーバを経由しないように 設定してください。設定内容は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
E0172047	[メッセージ]	プロキシサーバへの接続に失敗しました。
	[対処方法]	コントロール・パネルの[インターネット オプション]で、プロキシサーバを経由しないように 設定してください。設定内容は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
E0174024	[メッセージ]	ライセンス・マネージャの想定より古いバージョンのフローティング・ライセンス・サーバに 接続しています。 フローティング・ライセンス・サーバをバージョンアップしてください。
E0174025	[メッセージ]	フローティング・ライセンス・サーバの想定より古いバージョンのライセンス・マネージャを 使用しています。 ライセンス・マネージャをバージョンアップしてください。
E0174100	[メッセージ]	無効なライセンス・キーです。 xxx
E0174101	[メッセージ]	このライセンス・キーはすでに登録されています。 xxx
E0175400	[メッセージ]	<i>option</i> オプションには引数が必要です。
E0175401	[メッセージ]	<i>option1</i> と <i>option2</i> オプションを同時に指定することはできません。
E0175402	[メッセージ]	不正なオプションです。: <i>option</i>
E0175403	[メッセージ]	<i>option</i> の< <i>argument</i> >引数が不正です。: <i>size: min</i> から <i>max</i> を指定してください。
E0175404	[メッセージ]	<i>option</i> オプションの< <i>argument</i> >引数が不正です。: <i>value: spec</i> を指定してください。
E0175405	[メッセージ]	フローティング・ライセンスが無効です。option により有効化してください。
E0175420	[メッセージ]	指定されたライセンス・キーは登録されていません。: <i>licenseKey</i>
E0175421	[メッセージ]	指定された種類のフローティング・ライセンスは取得できませんでした。: <i>kind</i>
E0175422	[メッセージ]	指定された種類のフローティング・ライセンスの使用は終了できませんでした。: <i>kind</i>
E0180010	[メッセージ]	以下のライセンスを追加できませんでした。 アップグレード(バージョン)ライセンスを追加するためには、アップグレード元ライセンスの 登録が必要です。 xxx
E0180011	[メッセージ]	ライセンスの削除に失敗しました。 アップグレード(バージョン)ライセンスを削除する前にアップグレード元ライセンスを削除 することはできません。
E0182000	[メッセージ]	ライセンス情報を "xxx" に書き込めませんでした。
E0190000	[メッセージ]	ライセンス・マネージャの起動に失敗しました。
E0190001	[メッセージ]	ライセンス・マネージャの起動に失敗しました。

		ライセンス情報を保存するフォルダが見つかりません。
--	--	---------------------------

3.4 インフォメーション

M0175000	[メッセージ]	詳しくは、command --help を実行してください。
M0175020	[メッセージ]	利用できるライセンスがありません。
M0175021	[メッセージ]	使用期限切れになるノードロック・ライセンス(annual)があります。
M0175022	[メッセージ]	使用期限切れになるフローティング・ライセンス(annual)があります。
M0190000	[メッセージ]	ライセンス情報の読み込みに失敗しました。ファイルが壊れています。 もう一度ライセンス・キーを入力してください。
M0191605	[メッセージ]	Released.
M0191607	[メッセージ]	Get new license : xxx
M0191608	[メッセージ]	Supported : xxx licenses
M0191801	[メッセージ]	Getting license : xxx
M0191802	[メッセージ]	Connecting : xxx
M0191804	[メッセージ]	Getting supported licenses : xxx
M0191805	[メッセージ]	Getting license as offline mode : xxx
M0191806	[メッセージ]	Releasing license : xxx
M0191807	[メッセージ]	Getting license expiration info.

3.5 ワーニング

W0175200	[メッセージ]	option オプションの argument 引数の値が大きすぎます。: max の値にします。: value
W0175201	[メッセージ]	option オプションの argument 引数の値が小さすぎます。: min の値にします。: value
W0190002	[メッセージ]	"xxx" からライセンス情報の読み込みに失敗しました。ファイルが壊れています。
W0190003	[メッセージ]	ライセンス情報の読み込みに失敗しました。ファイルが壊れています。

改訂記録	ライセンス・マネージャ V2.09.00 (Linux 用) ユーザーズ・マニュアル
------	--

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2025.09.01	－	初版発行

ライセンス・マネージャ V2.09.00 (Linux用) ユーザーズ・マニュアル

発行年月日 2025年9月1日 Rev.1.00

発行 ルネサス エレクトロニクス株式会社
〒135-0061 東京都江東区豊洲3-2-24 (豊洲フォレシア)

ライセンス・マネージャ V2.09.00 (Linux 用)



ルネサス エレクトロニクス株式会社

R20UT5727JJ0100